

BiomeSurvey v2 主な変更点

2024年5月8日作成

この資料では、2024年5月9日リリースの **BiomeSurvey v2** における、それ以前のバージョンからの主な変更点をまとめています。項目 1～5は全メンバーに関係する変更点、項目6～8は主にワークスペースの管理者にとって重要な変更点です。各項目の詳細については『BiomeSurvey v2 操作マニュアル』にてご確認いただけます。

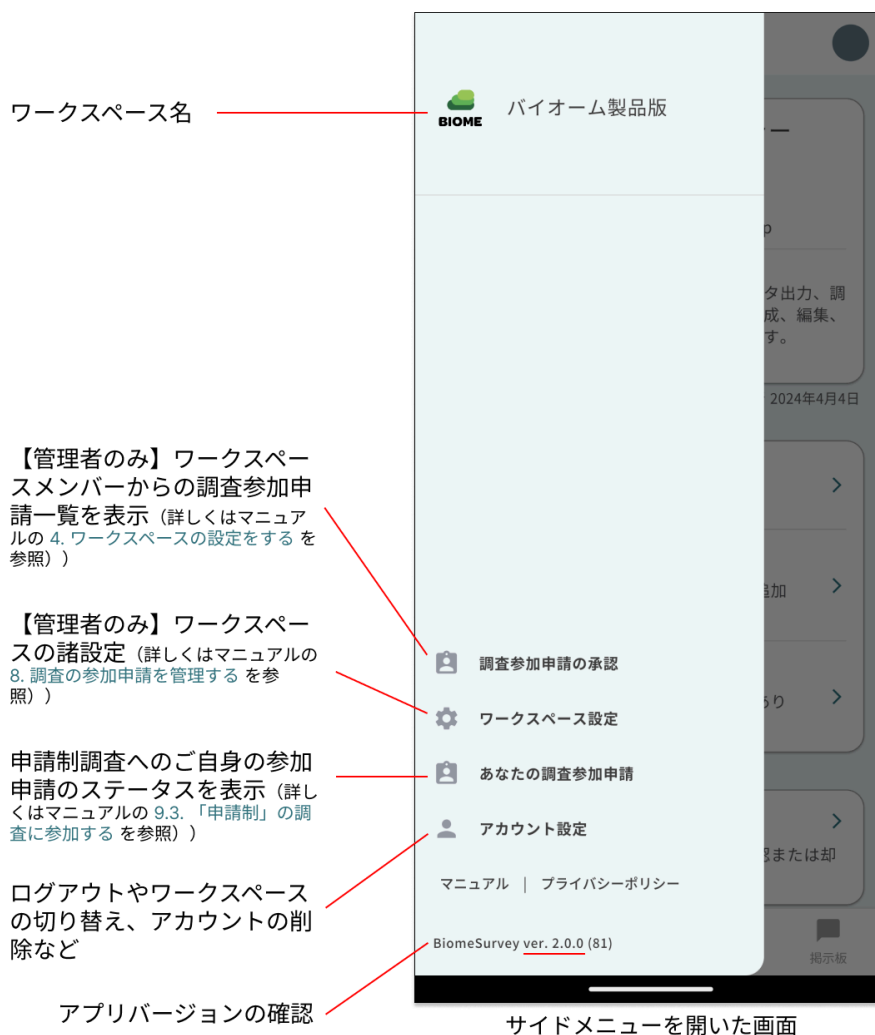
BiomeSurvey v2 主な変更点	1
1. ホーム画面	2
2. サイドバーを開いた画面	3
3. 調査画面	4
4. 投稿の位置情報の設定	4
5. オフライン環境での調査	6
5.1. 調査のダウンロード	6
5.2. オフライン環境で投稿(ストック)を作成する	7
5.3. ストックのアップロード	7
6. ワークスペースメンバーの権限	8
7. 調査への参加方法	9
①自由参加制	9
②登録制	9
③申請制 ※旧「申請・承認制」	9
8. 調査の公開範囲	10
「全てのメンバー」	10
「調査の参加者のみ」	10
BiomeSurveyのお問い合わせについて	11

1. ホーム画面



新しいホーム画面

2. サイドバーを開いた画面



新しい設定メニュー画面

3. 調査画面



新しい調査画面

4. 投稿の位置情報の設定

投稿を作成する際、正しい位置情報が設定できているかを「位置情報」の画面で候補から選択できるようになりました。

「位置情報」の画面では、一番上の色がついている行に、現在設定されている投稿の位置が表

示されています。設定可能な位置情報が複数ある場合は、その下にリストで表示されます。



投稿の位置情報の設定
(左:「写真1」をタップする⇒右:投稿の位置情報が「写真1」の撮影場所に設定される)

上のスクリーンショットの投稿の場合は、「最初に設定したピンの位置」(調査のマップ画面でターゲットマークを合わせた位置)を使うか、「写真1」の位置を使うかを選択できます。

これら以外の場所を設定したい場合は、「現在設定されている投稿の位置」をタップして、手動で設定することもできます。



5. オフライン環境での調査

5.1. 調査のダウンロード

BiomeSurvey v2は、オフライン環境で行う調査にも対応しています。オフライン環境で調査を行うためには、事前に調査データと地図をダウンロードしておく必要があります。オフライン環境で表示できる地図は地理院地図のみです(衛星画像やGoogleMapは表示できません)。

調査のマップ画面上の黄色いボタンをタップすると、地図をダウンロードできます(この操作はオンライン環境で行ってください)。



調査のダウンロードを行う手順

ダウンロードが完了すると、黄色いボタンが「オフライン対応済」という緑色のボタンに変わります。このボタンを再度タップすると、ダウンロードした調査データの消去や、更新を行うことができます。

5.2. オフライン環境で投稿(ストック)を作成する

オフライン環境では、投稿は「ストック」という形で端末に保存されます。ストックは、アップロードしない限り、自分だけが見られる状態です。

ストックはマップ上にオレンジのピンで表示されます。作成したストックの詳細は、マップ画面上部の水色のボタン、または画面下部のアイコンをタップすることで確認できます。



オフライン環境でのストック作成画面

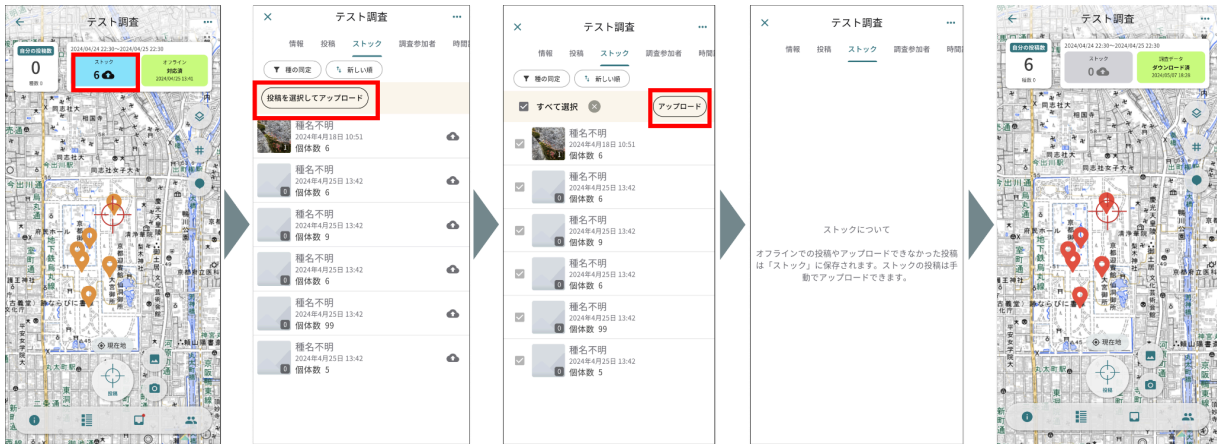
5.3. ストックのアップロード

※この操作はオンライン環境で行ってください

ストックは、アップロードしない限り、手元の端末に保存されている状態です。オンライン環境に戻ったら、ストックを手動でアップロードしてください。アップロードされたストックが「投稿」として調査に登録されます。

ストックのアップロードを行わないと、ご自身の調査した内容が他の調査参加者に共有されず、調査結果にも反映されませんので、忘れずに行ってください。

1. 画面上部の水色のボタン「ストック」をタップし、ストックの一覧を表示します
2. ストックをまとめてアップロードしたい場合は、「投稿を選択してアップロード」をタップし、「すべて選択」にチェックを入れて「アップロード」をタップします（投稿したいストックだけを選んでアップロードすることもできます）
3. アップロードが完了すると、ストックはストック一覧から消え、投稿一覧のページに移動します
4. ストックがアップロードされると、オレンジ色だったピンが赤色に変わります。



ストックの一括アップロード手順

6. ワークスペースメンバーの権限

BiomeSurvey v2では、ワークスペースメンバーの権限は4種類です。

権限名 ※()内は略称		権限の内容
ワークスペースの管理者	ワークスペース・オーナー (オーナー)	ワークスペース内の全ての機能を利用できます。
	ワークスペース・マネージャー (マネージャー)	オーナーに準ずる管理者として、ワークスペース内のほとんど全ての機能を利用できます。
調査リーダー (リーダー)		調査を作成することができます。
通常メンバー		通常のメンバーです。

旧版の権限との対応関係は以下の通りです (3種類あったマネージャー権限が1つにまとまりました)。

- 旧 オーナー ⇒ オーナー
- 旧 ワークスペースマネージャー ⇒ マネージャー
- 旧 ユーザーマネージャー ⇒ マネージャー
- 旧 調査マネージャー ⇒ マネージャー
- 旧 調査作成権限 ⇒ リーダー
- 旧 メンバー ⇒ 通常メンバー

権限ごとの利用できる機能については、マニュアルの [3. ワークスペースのメンバー権限](#) をご確認ください。

7. 調査への参加方法

調査に投稿を追加するためには、調査に参加する必要があります。BiomeSurvey v2には、旧版と同様、下記3つの参加方法があります。

①自由参加制

ワークスペースメンバーであれば誰でも「参加する」ボタンをタップすることで参加できます。(旧版では、自由参加制の調査には「参加する」操作は必要ありませんでした)

②登録制

調査作成者またはワークスペースの管理者(オーナーまたはマネージャー)に招待されたメンバーのみが参加できます。招待されたワークスペースメンバーは自動的にその調査に参加している状態になります。

③申請制 ※旧「申請・承認制」

参加者側からの参加申請を調査作成者とワークスペースの管理者(オーナーまたはマネージャー)が承認することで参加者が追加されます。(詳しくはマニュアルの8. 調査の参加申請を管理するを参照)



調査の参加方法の設定

8. 調査の公開範囲

BiomeSurvey v2では、参加方法とは別に「調査の公開範囲」を設定できるようになりました。公開範囲は下記の2つから選択します。

「全てのメンバー」

全ワークスペースメンバーが、その調査や調査の中の投稿詳細を閲覧可能な状態です。

「調査の参加者のみ」

その調査の参加者以外のワークスペースメンバーには、その調査自体が表示されません。

※重要※ 公開範囲の推奨設定

調査の参加方法を変更すると、自動的に下記の推奨設定になる仕様となっています。

自由参加制⇒「全てのメンバー」

登録制⇒「調査の参加者のみ」

申請制⇒「調査の参加者のみ」

これ以外の公開範囲にしたい場合は、参加方法を設定した後に、公開範囲を手動で変更してください(この操作を行うと、注意喚起のため「現在の設定は、非推奨です」というメッセージが表示されます)



調査の公開範囲の設定

以上が主な変更です。

詳しい仕様や操作方法については、公式マニュアルをご覧ください。

アップデートのお知らせ：<https://biome-survey.com/news/release-2-0-0/>

BiomeSurveyのお問い合わせについて

BiomeSurveyの開発・販売・運用は株式会社バイオームが行なっております。サービスの詳細やご利用開始について、ご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。

株式会社バイオーム

お問い合わせフォーム：<https://biome-survey.com/contact/>

会社情報：<https://biome.co.jp/profile/>